



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

## — あいなん音故地新 —

## イイオンナ

11月07日、1107、イイオンナの日、東京・吉祥寺でのワンマンライブを無事に終えた。やろう、と決めてから直前まで、楽しんでもらえるやろうか、人は集まってくれるやろうか、喜んでもらえるやろうか、そんな不安が頭を占領しとった。できる限りのことはやるけど、なんだって限りがある。お金や時間や才能や力、今の私の持つ微々たるものを寄せ集めて、15回目のワンマンライブを開催した。

蓋を開ければ100人近い方が足を運んでくれて、目の前にある光景が嬉しくて楽しくて眩しくて幸せで、思わず涙がこぼれた。

こんな時間が待っとるってわかつとるなら、やろうかどうしようかなんて悩まずに済むのにね。未来は誰にもわからんから、やってみるしかないんよね。もし、数カ月前の私が開催を諦めとったら、この日の喜びはなかったやろう。もし挑戦して、思うようにならんかったとしても誰かがきっと喜んでくれて、それをまた私が喜んだやろう。『やってよかった』その一言に尽きる。やろう！と決めた、あの日の自分を褒めたい。

失敗や負けを恐れるなよ、私。恐れて一步を踏み出せんようになることが一番怖い。そんな風になるなよ、私。いつまでも与えられたハードルに挑戦していけよ。イイオンナ、なんやけんね。ふっふ。

(テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

## “12月の新着図書ピックアップ”の紹介

【絵本】

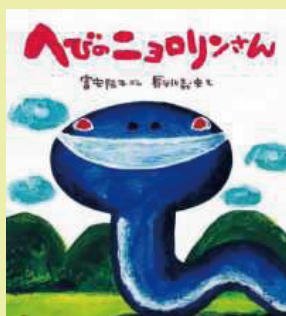
『へびのニョロリンさん』

長谷川 義史(絵)

富安 陽子(文)

童心社(発行)

トメばあさんの家の屋根裏に住むことにしたニョロリンさん。「こニョロちは」「ごちニョロさまでした」「ニョロしくおねがいします」と、とても礼儀正しい蛇さんです。トメばあさんとの一日は、一緒にご飯を食べて、お散歩して、ほのぼの、のんびり。ある夜、そんな二人の家にやってきたのは…。



【小説】

『抹殺』

柴田 哲孝(著)

光文社(発行)

政情不安下の南スーダンをPKO部隊として派遣された自衛隊の"特戦群"メンバーの遺体が相次いで見つかる。時を同じくして、"特戦群"に救出された女性医師が帰国するが、凄惨な悲劇に遭遇し、事態は大きく動き始める。緊迫の軍事サスペンス。高祖父が宇和島藩士という著者の最新作。



御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。

図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町  
ホーム  
ページ